



往還風景 藤森 美仔さん歌謡ショー

歌手の藤森 美仔さんにきていただき、歌を披露してもらいました。数々の歌を歌っていただき、利用者様も思わずその歌声にうっとりとききいてみえるお姿が拝見できました。ラジオ番組にもでられたり、各方面に出向かれて歌手活動をしてみえます。



きれいな
着物姿に
うっとり！



6月の施設行事



- 5日 (金) マジックショー(14:00～)
- 16日 (火) 音楽療法
3階、ショート対象
- 17日 (水) 音楽療法
2階、ショート対象
- 28日 (日) バイオリン演奏
(朝日中学校先生による)

6月のクラブ活動



- 4日 書道クラブ
- 11日 手作りクラブ
- 18日 書道クラブ
- 26日 お花クラブ
- 30日 カラオケクラブ

アニマルセラピー

かわいい犬の登場にびっくりされたり、さわってにっこりされたりとさまざまなご様子が拝見できました。



マジックショー

芸名の花咲けめこさんによる歌と小手品とおもしろおかしい笑い話の楽しい1時間でした。いろんな衣装に着替えられて見ても楽しく、笑いあふれるとても楽しいショーを見せていただきました。



朝日町役場職員福祉施設体験 5月28・29日

役場の職員4名の方が往還に職場体験にきていただきました。慣れない事ばかりで最初はとまどいもあったかの様で緊張されたご様子でしたが二日目からは利用者様に話かけていただいたり散歩にも一緒について行っていたりで大変お世話になりました。



ショート(花菖蒲)でレクリエーションでボール投げや輪投げをして楽しくすごしていただきました。





認知症診断はここまで分かるようになった。



四日市医師会では定期的に講演会や勉強会が開かれており、月に平均して5～7回もあります。すべてに出席できるわけでもないのですが、最新の医療情報を得るにはとても役立ちます。今回は認知症の画像診断というテーマでした。

認知症を疑う症状には 本人や家族からの会話の中にあります

- ・最近「物忘れ」がひどい気がする
- ・「あれ」、「それ」などの言葉が多くなった
- ・何をしようとしていたのか、ふと分からなくなることがある
- ・慣れた道で迷うようになる
- ・怒りっぽくなった
- ・以前より、元気がなくなった、閉じこもるようになった

などの症状を感じたら、一度かかりつけ医に相談するサインだという事です。

本当に認知症かどうか、医師は質問しながら調べていきます。しかし脳の病気とは違った全身の病気の場合もありますので血液検査やレントゲンなどで鑑別診断をしていきます。その他、神経学的な検査や心理学的な検査などがありますが、今回は認知症と診断された人の脳の変化がどのように調べられるかという講演会であったので、そこは省きます。

脳の機能を血流を通してみる検査をSPECT（スペクト）といいます。放射性医薬品を注射した後ガンマカメラで脳の写真を撮りコンピュータで画像処理していきます。30から40分かかりますが単に寝ているだけで検査は終わります。脳の機能が低下した部位は血流も低下するので、診断できるわけです。eZISというソフトを利用すると、診断困難な認知症の早期から判断できますし、症状が重くなっていけばいくほど血流が低下していることまで分かるということでした。

アルツハイマーやレビー小体型認知症、前頭側頭型認知症ではそれぞれ血流の低下する場所が異なることが分かってきました。将来は病気をもっと分かるようになり、認知に対する治療も期待できるという結論でした。

こめだ腎・泌尿器科 米田 勝紀

編集部より

新型インフルエンザが流行しています。手荒い、うがいをしっかりと励行してマスク着用をこころがけてインフルエンザの予防をしていきたいですね。

ワンポイント

今日から始める、簡単お口のケア

施設内職員研修

平成21年5月13日（14：00より）

地域交流スペースにおいて、栄養士・宮本さんによる施設内職員研修を行いました。職員17名の参加で、研修会の内容は、「災害時における特定給食施設での対応」～中越沖地震を通して学んだこと～についてとし、職員の大地震に対する意識の向上と対策を考える機会となることを目的としました。いつおこるかもしれない地震に対しての意識をもっともたなければいけない事を実感しました。



舌と上あごのケア（2）

唾液の分泌量が減り、舌の動きが鈍くなった高齢者では、舌の汚れがつきやすくなります。

舌が汚れば接する上あごも汚れるので、歯みがきだけでなく、舌や上あごの汚れも意識してケアを行うようにしましょう。

舌と上あごのケアには、やわらかめの歯ブラシや、専用の舌クリーナーなどを使用します。舌の表面を軽い力で奥から手前に10回程度かき出します。上あごも同様に行います。

乾燥したままブラッシングすると汚れが落ちにくいだけでなく、粘膜を傷つけてしまうこともあるので、必ず口の中に少量の水を入れて湿らせて、ささっとブラッシングします。

また、こすりすぎは禁物です。一度にきれいにならなくても毎日少しずつ行うことで汚れは徐々に落ちていきます。



歯科衛生士 水谷 敦子